

学校外の人材を活用したキャリア教育実践モデル

学年 3 教科・領域 国語（書写） 単元・題材等 毛筆指導・支援

単元・題材等の目標 毛筆で文字を書くときの姿勢や毛筆の持ち方、用具の扱い方や筆の特性を理解する。横画や縦画などの筆使いを理解して書く。

○活用できる学校外の人材と内容等

毛筆を得意とする地域の人など

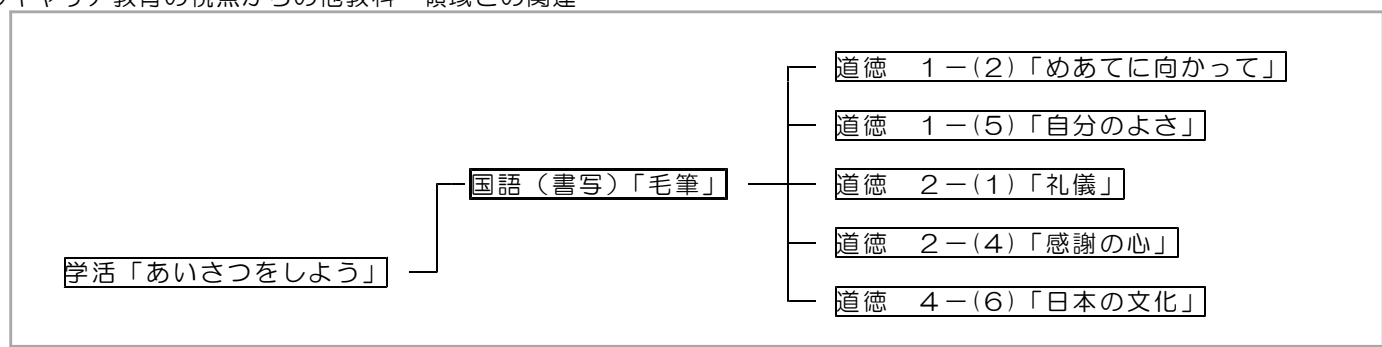
*来校してもらい、教師とのチームティーチングで毛筆の指導や支援をしてもらう。

○キャリア教育の視点から本単元・題材等で育成することが期待される能力・態度

*太字は、学校外の人材活用により育成が期待できる能力・態度

- ・自分の作品のよいところを見付け、友達の作品のよいところを認め賞賛する。【**自他の理解能力**】
- ・よりよい作品にするために質問する。【**情報収集・探索能力**】
- ・書道を得意とする人、趣味や仕事としている人がいることが分かる。【**情報収集・探索能力**】

○キャリア教育の視点からの他教科・領域との関連



○学校外の人材を活用するポイント

本単元・題材等に入る前に



*来校される人の人数の把握と、当日の役割分担及びどのような支援をしてほしいかについて確認しておきましょう。



活用前の指導では



*毛筆学習の準備や片付け、基本的な用具の扱いができるように指導しておきましょう。



活用時の指導では



*毛筆を得意とする人の手本や説明などを自分の練習への取組に生かすようにさせましょう。
*自分の作品、友達の作品のよさを見付けるようにさせましょう。



活用後の指導では



*指導してもらったことやアドバイスしてもらったことなどを、その後の練習や作品づくりに生かすようにさせましょう。

○学校外の人材を活用する指導の流れ

活用前の指導

①毛筆の用具と使い方を知ろう

◆文字を書くときの姿勢や毛筆の持ち方、用具の扱い方を理解する。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●毛筆用具の準備のしかた、姿勢や毛筆用具（筆、墨、硯など）の名前や使い方、筆の持ち方を知る。 ●毛筆用具の片付け方を覚える。 ●次時の予定について知る。 	○毛筆を行う際の基本的な準備や用具の扱い方、姿勢、片付け方等について、一つずつ確認しながらできるようにさせる。

評価の観点 ・毛筆用具の準備や片付け方が分かる。
・毛筆時の姿勢や用具の使い方などが分かる。

活用時の指導

②筆使いを知ろう

◆筆の特性や筆使いを理解して書く。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●毛筆の準備をし、はじめのあいさつをする。 ●太さの線を変えたり、毛筆の軸の角度を変えたりして書いてみる。 ●横画と縦画の筆使いを確認して理解する。【情報収集・探索能力】 ●横画や縦画のある漢字を毛筆で書き練習する。【情報収集・探索能力】 ●上手に書くためにどのようにしたらよいかを質問し、指導を受ける。【情報収集・探索能力】 ●作品を見て、よいところを見付け、発表する。【自他の理解能力】 ●終わりのあいさつをして、片付けを行う。 	<p>○毛筆の準備をさせ、来校された人を紹介し、あいさつをさせる。 *教師と来校された人とのTTで行うことが考えられる。</p> <p>○教師または来校された人が手本を見せながら、それぞれのポイントを説明する。</p> <p>○練習の間は、分担をしながら児童の間をまわり、適宜指導や支援を行う。</p> <p>上手に書けないところや聞きたいことは質問してくださいね。</p> <p>○作品を見て、よく書けているところを挙げさせる。</p> <p>自分の作品や友達の作品で、上手に書けていると思うところはどこですか？</p> <p>○お礼のあいさつをさせ、片付けをしっかりとさせる。</p>

評価の観点 ・筆の特性や筆使いを知り、毛筆の練習に生かすことができる。
・自他の作品のよさを見付け、さらに上達するための情報を得ることができる。

活用後の指導

③練習をし、作品を仕上げよう

◆筆使いを意識しながら練習に取り組み、自分の作品を仕上げる。

学習活動	指導上の配慮事項
<ul style="list-style-type: none"> ●前時の学習を生かして、毛筆の練習を行う。 ●作品を見て、よいところを見付け、発表する。【自他の理解能力】 ●作品を提出し、片付けを行う。 	<p>○教えてもらったことを思い起こさせ、意識しながら練習するようにさせる。</p> <p>○児童の間をまわりながら、どのような点や内容を指導してもらったかを確認し、個別指導を行う。</p> <p>○友達の作品を見て、上手な点を自分の作品にも生かすように助言する。</p>

評価の観点 ・指導してもらったことを生かして練習に取り組むことができ、作品を仕上げるができる。